

Phish Alert Button

ワンクリックでフィッシング攻撃を報告



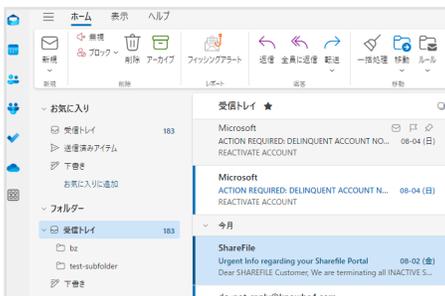
Phish Alert Button

不審なメールを受け取った場合にどのように対処したらよいのかを、社内で周知徹底していますか？

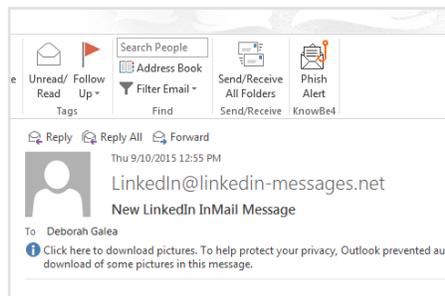
ヘルプデスクに不審なメールを受け取ったことを連絡すべきですか？見出しを含むメール全体をIT部門へ転送すべきですか？危険なので、報告もせずにメールを即座に削除すべきですか？

KnowBe4では、アドイン機能としてPhish Alert Button (Phish Alertボタン) を用意しています。このボタンを押すだけで、不審メールを安全にセキュリティ担当者へ転送して分析を開始できます。その後、受信ボックスから疑わしいメールを削除して、今後の脅威の拡散を防止。Phish Alert Buttonをワンクリックするだけですべてが完了します。

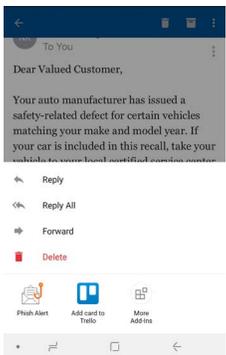
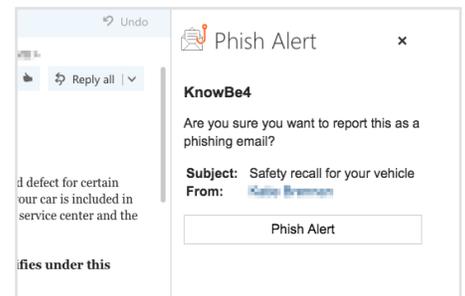
MicrosoftリボンPAB 各ユーザーにPhish Alert Buttonを追加



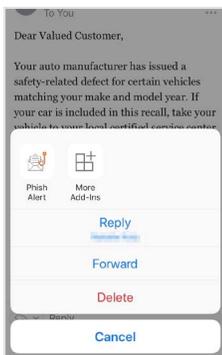
Outlookツールバー 各ユーザーにPhish Alert Buttonを追加



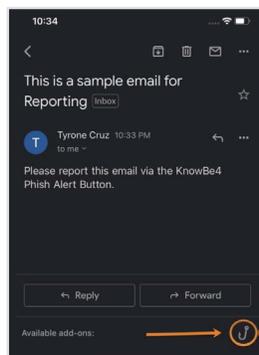
Microsoft 365 アドインペイン 各ユーザーにPhish Alert Buttonを追加



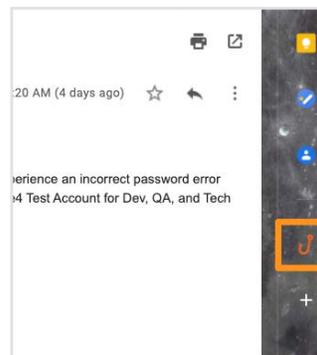
Outlook Mobile
(Android)



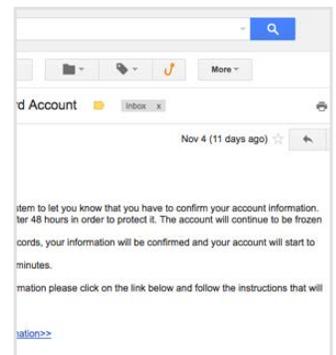
Outlook Mobile
(iOS)



Gmail Mobile
(Android)



Gmailアドオン
各ユーザーにPhish
Alert Buttonを追加



Gmailエクステンション
各ユーザーにPhish
Alert Buttonを追加

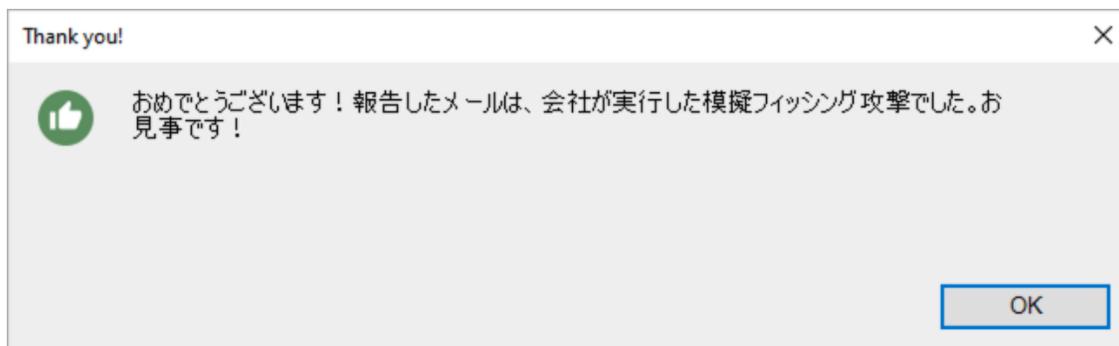
- 万一、不審メールを受信したら、Phish Alert Buttonをクリックするだけでそのメールがセキュリティ担当者やインシデントレスポンスチームへ直接転送されます。
- Phish Alert Buttonメッセージおよびユーザーダイアログボックスはすべてカスタマイズ可能です。
- サポートされているクライアント: Outlook 2010 / 2013 / 2016 / 2019 & Outlook for Microsoft 365、Exchange 2013 / 2016 / 2019、Outlook web版 (Outlook.com)、Outlook Mobileアプリ (iOS および Android)、Chrome 80 以降 (Linux / OS X / Windows)、Google Workspaceで接続したGmailアカウント。GmailアドオンはブラウザおよびモバイルクライアントでGmailと互換性があります。互換性の詳細については、以下をご覧ください: <https://support.knowbe4.com/hc/ja/articles/1500011951662-Phish-Alertボタン互換性マトリックス>

Phish Alert Buttonの特長

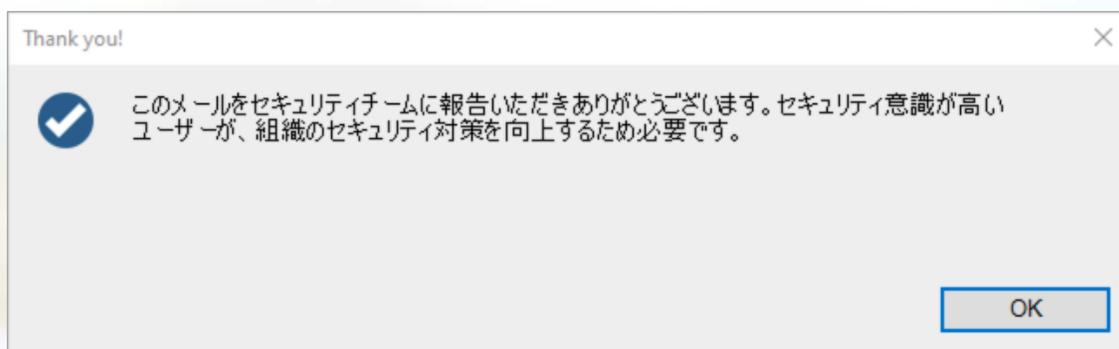
- ▶ ワンクリックで不審メールを報告することを従業員に習慣付けます。この習慣を組織内に根付かせることで、セキュリティカルチャーを組織内に浸透させていくことができます。
- ▶ 模擬フィッシングセキュリティテストの結果を従業員一人ひとりに即座にフィードバックし、各自のトレーニングを随時強化することが可能になります。
- ▶ セキュリティ担当者は、従業員からの早期のフィッシングアラートを受信することで、フィッシング攻撃のセンサー網を構築できます。
- ▶ 受信メールアドレスの変更・匿名化を行い、社内に警告することができます。セキュリティ意識向上トレーニングプログラムと連携して、ユーザーダイアログボックスのメッセージを随時変更することができます。メールクライアントを開くと、ほとんどのバージョンでPhish Alert Buttonのアドインがメッセージを自動的に更新します。
- ▶ Phish Alert Button (PAB) の簡単な導入オプション: Windows用Outlook PAB インストーラ、Microsoft製品用PABマニフェスト、Gmail Chrome Extension PAB設定ファイル、Google Workspace用Gmailアドオンアプリ



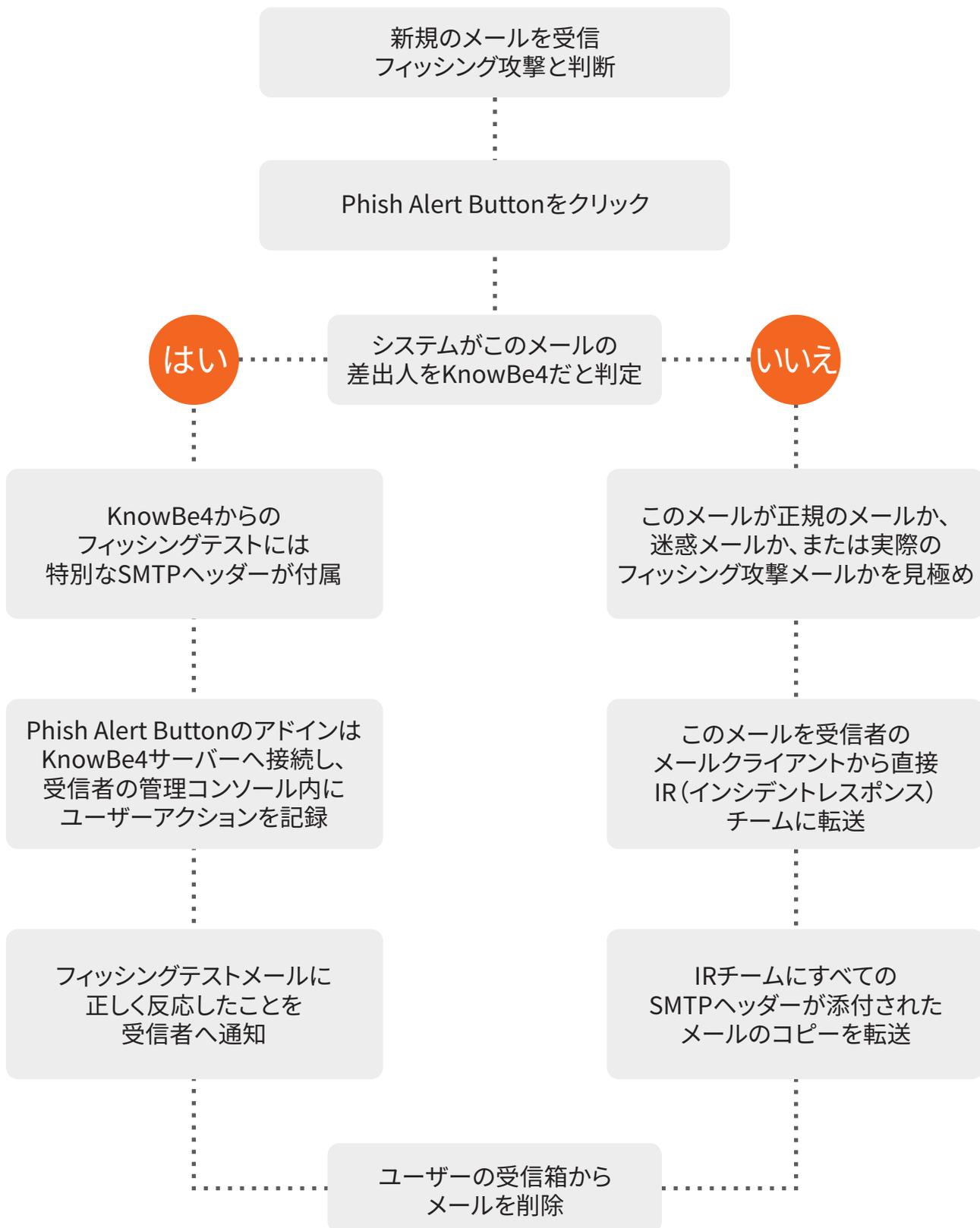
模擬フィッシングセキュリティテストでPhish Alert Buttonをクリックしたとき



実際のフィッシング攻撃メールに対してPhish Alert Buttonをクリックしたとき

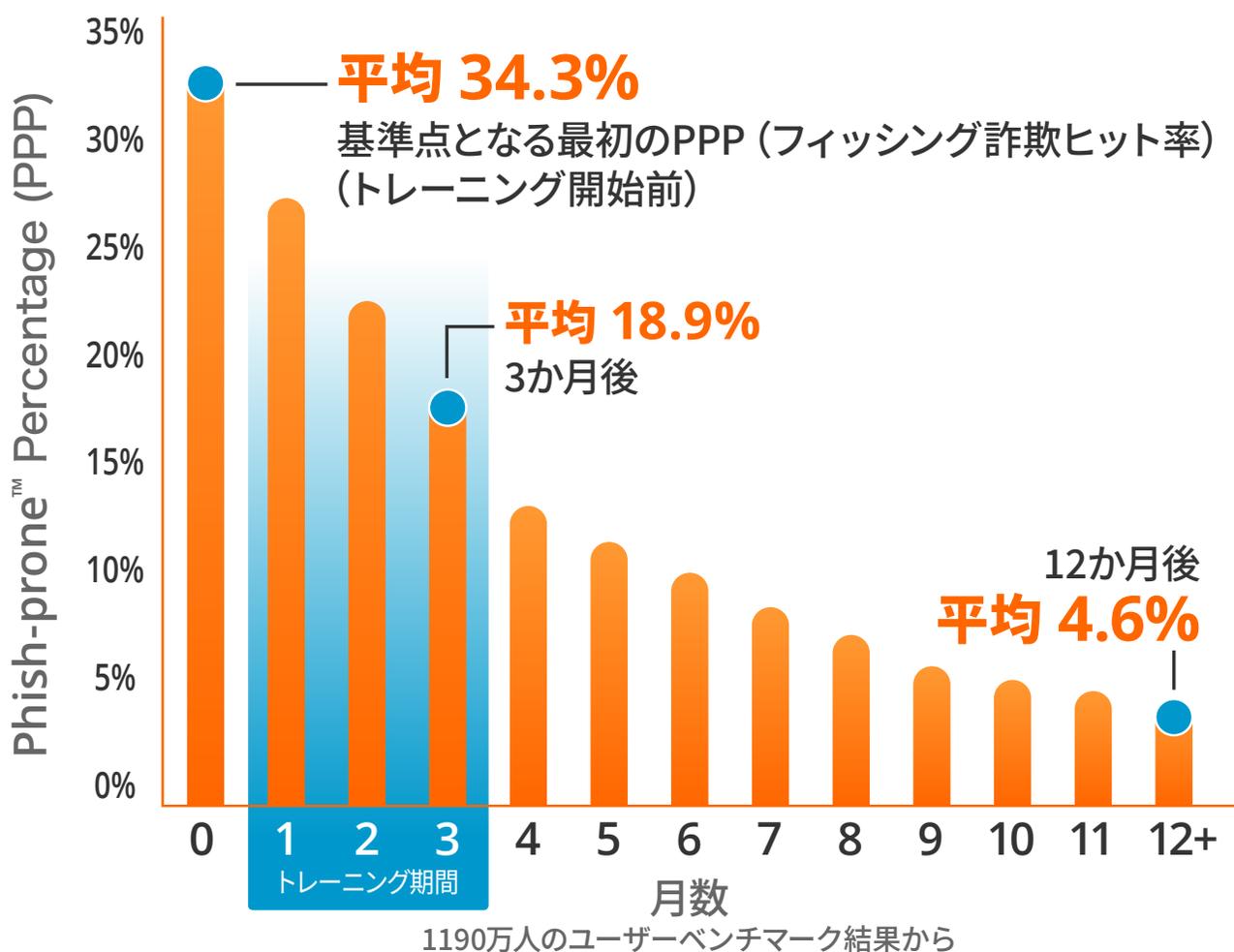


[図で解説] Phish Alert Buttonの仕組み



ソーシャルエンジニアリング攻撃への脅威に対する防御を強化

- ▶ 従業員一人ひとりのPPP (Phish-prone Percentage: フィッシング詐欺ヒット率) を継続的に低下させる。
- ▶ 模擬フィッシングテストメールと実際のフィッシング攻撃メールの両方が報告されることで、不審メールを報告する意識が従業員一人ひとりに習慣として定着する。
- ▶ セキュリティ担当またはインシデントレスポンスチームが実際のフィッシング攻撃に対して迅速な初動対応を取ることが可能になる。



出典: 2024年のKnowBe4業界別フィッシングベンチマーキングレポート

注: PPPの初期値は、評価対象の全ユーザーに基づいて算出されています。これらのユーザーは、評価前にKnowBe4コンソールを使ったトレーニングをいっさい受けていません。その後の各期間の数値は、全ユーザーのうちKnowBe4コンソールでトレーニングを受けたユーザーのPPPを反映しています。

Phish Alert



サポートポータル



ご質問がある場合は、
お気軽にお問い合わせください。

メール: Info@knowbe4.jp

電話: 03-4588-6733

お気軽にお問い合わせください



Info@knowbe4.jp



www.KnowBe4.com
www.KnowBe4.jp



03-4588-6733

KnowBe4
Human error. Conquered.

KnowBe4 Japan 合同会社 | 〒100-6510 東京都千代田区丸の内 1-5-1新丸の内ビルディング 10F EGG
電話: 03-4586-4540 | www.KnowBe4.com / www.KnowBe4.jp | お問い合わせ: Info@knowbe4.jp

© 2024 KnowBe4, Inc. All rights reserved. 本書に記載する他の製品および会社名は、それぞれの企業の商標および／または登録商標です。
05E06K06